

兵庫県たつの市長を表敬訪問



↑表敬訪問を受ける山本市長（写真左）

5月10日、遠藤町長は兵庫県たつの市の山本実市長を表敬訪問し、童謡誕生100周年を機に童謡によるまちづくりを行う自治体として共に協力することで童謡100周年を盛り上げ、童謡文化の更なる発展とふるさとの歌を次世代に継承していくことを約束しました。

同市からは、日本を代表する多くの詩人、作曲家とともに多数の童謡が誕生しており、全国でもいち早く童謡のまち宣言を行い、童謡によるまちづくりを行っています。

第7回広野町復興祈念パークゴルフ大会を開催



↑吉野復興大臣と記念撮影

5月20日、第7回広野町復興祈念パークゴルフ大会が広野町ニッ沼総合公園パークゴルフ場で開催され、町内外から約170人が出場しました。

開会式では坂本紀一広野町パークゴルフ協会会長があいさつをし、遠藤智広野町長は「双葉地方の復興再生に全力をつくし、力強く前進していきます。」とあいさつを述べました。また、来賓の吉野正芳復興大臣は祝辞で「双葉郡はもとより、福島県の復興創生へみんなで頑張ろう。」と力強い言葉を述べました。

その後、吉野大臣は遠藤町長、大和田副町長、松本教育長とともに、参加者との交流、被災地の復興について語りながら、みかんコースの1番ホールから9番ホールまでプレーを楽しみました。

広野町商工会と連携協力協定を締結



↑締結式の様子

5月8日、町と広野町商工会は、広野駅東側開発整備事業区域内に新しく商工会館を建設し、事業者の生業や再建等の支援、働く場の創出や買い物をする場など、町の機能を早期に回復させるための連携・協力に関する基本協定を締結しました。

締結式では、広野町商工会の黒田政徳会長と遠藤町長が協定書に署名し、商工業の発展に向けて連携を深めました。

広野町安心・安全ネットワーク会議表彰



↑感謝状を受けた中野副会長（写真後列右端）

4月27日、双葉警察署において、広野町安心・安全ネットワーク会議が双葉署管内交通死亡事故ゼロ1年達成に伴う表彰を受けました。これは、広野町安心・安全ネットワーク会議が町内の国道などにおいて、立哨活動など交通事故防止活動により交通死亡事故発生の抑止に貢献したことに對して表彰されたものです。

表彰では、中野政仁副会長が遠藤智会長の代理で表彰を受けました。

「Jヴィレッジ駅」(仮称)の起工式・安全祈願祭を実施



↑くわ入れをする関係者

5月22日、Jヴィレッジ駅(仮称)の起工式と安全祈願祭が実施されました。双葉地方町村会と福島県、JR東日本の関係者ら約70人が出席し、町村会長の松本幸英楢葉町長、鈴木正晃副知事、JR東日本の輿石逸樹水戸支社長、吉田栄光県議会議長、遠藤智広野町長、横山忠弘福島復興局長、尾関良夫国土交通省東北運輸局長、Jヴィレッジの小野俊介専務がくわ入れをしました。

新駅はサッカーや音楽イベント開催時などに列車が停車する臨時駅となる予定です。

行政区長会議を開催



↑行政区長会議の様子

4月26日、広野町中央体育館で行政区長会議を開催しました。会議では平成30年度の町の重点事業説明が行われたほか、区長から集会所やごみステーションの管理、防犯灯の設置などについての質問や要望があり、これに対して遠藤町長や担当課長がそれぞれ回答しました。

平成30年度各種功労者知事表彰の受賞報告



↑受賞を報告した根本唯一郎さん（写真右）

5月15日、元広野町土地改良区理事長の根本唯一郎さんが広野町役場を訪れ、平成30年度各種功労者知事表彰の受賞を遠藤町長に報告しました。表彰式は、同日、福島市の杉妻会館で開催され、内堀雅雄福島県知事より賞状と記念品が授与されました。これは永年にわたり、広野町土地改良区理事長などとして農業生産基盤の整備や関係団体の発展、農林水産業の振興発展に尽力したことが評価されたものです。

遠藤町長は、「各種功労者知事表彰の受賞、本当におめでとございます。本町にとっても大変名誉なことです。」とお祝いの言葉を述べました。

広野町復興住宅・地域交流の集いが開催



↑挨拶を述べる遠藤町長

5月12日、遠藤町長は下北迫の復興住宅で開催された地域交流の集いに出席し、参加者に挨拶を述べました。

交流会には復興住宅住民(浪江・双葉・大熊・富岡・楢葉)、広野町民、ボランティアなど、関係者約50人が参加し、紙芝居や健康・賠償・介護相談、食事会などをして交流しました。